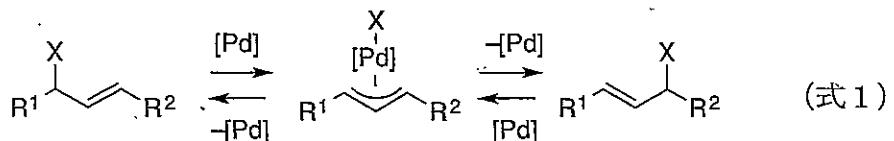


[有機化学標準]

次頁の合成スキームは、天然物(±)-Stemodinone の全合成工程を示している。以下の問(1)～(4)に答えよ。なお、スキーム中では反応溶媒を示していない場合もある。スキーム中の略号は下に示す。

- (1) 化合物**A**およびStemodinone (**E**)の不斉炭素の数を示せ。また、Stemodinone (**E**)の光学活性体である**F**の構造式を答案用紙に写し、存在するすべての不斉炭素について、それぞれの絶対立体配置をRS表示を用いて示せ。
- (2) **Step 1, 2, 3**および**7**の反応機構を、それぞれ電子の移動を表す矢印を用いて示せ。なお、反応中に変化のない構造については、略号を用いて示しても構わない。
- (3) 化合物**B**の構造式を示せ。なお、立体化学は考慮しなくても良い。
- (4) 化合物**C**と**D**の構造式を、それぞれ化合物の相対立体配置がわかるように示せ。なお、**Step 4**ではDiels-Alder反応、**Step 5**ではBaeyer-Villiger酸化反応、**Step 6**では(式1)に示すようなPd触媒を用いる転位反応が起きている。



Xは脱離能を有する置換基、[Pd]はPd触媒を示す。

略号表記

PPTS	Pyridinium <i>p</i> -toluenesulfonate
LDA	Lithium diisopropylamide
HMPA	Hexamethylphosphoric triamide
TsCl	<i>p</i> -Toluenesulfonyl chloride
DMAP	4-(Dimethylamino)pyridine
Tf	Trifluoromethanesulfonyl
<i>n</i> Bu	<i>n</i> -Butyl
<i>m</i> CPBA	<i>m</i> -Chloroperoxybenzoic acid

